

## 2013 (平成 25) 年度 学会活動報告

- 2013年6月8日(土) 2名の報告者を迎えて、第8回例会を筑波大学東京キャンパスで開催する。
- (1) 松本 康(信州大学)  
授業分析の課題と方法
  - (2) 原 和久(東大阪市立孔舎衛東小学校)  
民間人校長が見た学校教育現場
- 2013年8月28日(水) 「会報」第81号を発行する。
- 2013年11月2日(土) 中等社会科教育学会第32回研究大会を筑波大学文科系修士棟で開催する。
- 2014年1月16日(木) 中等社会科出版企画を会員に告知する。
- 2014年3月31日(月) 『中等社会科教育研究』第32号を発行する。

## 2014 (平成 26) 年度 学会活動計画

- 2014年6月7日(土) 2名の報告者を迎えて、第8回例会を筑波大学東京キャンパスで開催する。
- (1) 吉田 俊弘(大正大学教育開発推進センター)  
主権者教育の論じ方—理論と実践と政策のあいだで—
  - (2) 升野 伸子(筑波大学付属中学校)  
教師の教材理解の方法, 生徒の理解を深める発問
- 2014年10月1日(水) 「会報」第82号を発行する。
- 2014年12月6日(土) 中等社会科教育学会第33回研究大会を筑波大学文科系修士棟で開催する。
- 2015年3月31日(火) 『中等社会科教育研究』第33号を発行する。
- 2015年3月31日(火) 中等社会科教育学会出版企画本を刊行する。

## 事務局便り

### 1. 2015年度の行事日程

2015年度の行事は以下の日程で行われます。詳細は、随時HP (<http://www.chuusha.jp/>) の掲示板などでご案内いたします。多くの会員のご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

【例会】 2015年6月27日(土) 14時開始 筑波大学教育研究科棟2階  
【全国研究大会】 2015年11月22日(日) 10時開始 筑波大学東京キャンパス

### 2. 中等社会科教育学会会員執筆による本の刊行(予定)

近日中に中等社会科教育学会の会員執筆による本が刊行されます。中学校社会科、高等学校・大学の地歴科・公民科に関わる最新の授業実践を掲載しております。題名や販売価格等の詳細は刊行され次第HPでご案内いたします。中等社会科教育学会の会員の方には2割引きで販売いたします。

### 3. 中等社会科教育学会・授業実践研究部会の活動記録

第31回全国研究大会総会(2012年11月3日)において、出席者の賛同を得て、授業実践研究部会が発足いたしました。2014年度の当部会の活動について、下記の通り報告いたします。

#### ・第6回例会

期日 平成26年8月24日(日) 東洋大学白山キャンパス

内容 ①研究実践発表

中村光貴氏(筑波大学附属高等学校)

「地理授業における「調べ学習」の効果と留意点」

②巡検「千駄木・根津をめぐって」

東洋大学-天栄寺(駒込土物店縁起碑)-青踏社発祥の地-観潮楼(森鷗外旧宅)跡・森鷗外記念館  
見学-藪下道-千駄木の旧河道-根津神社-S坂-本郷台地の崖線-弥生土器発掘ゆかりの地碑-弥生美術館-暗闇坂-無縁坂-旧岩崎邸跡-地下鉄湯島駅 解散

案内者: 歴史分野 須賀忠芳(東洋大学) 地理分野 三橋浩志(文部科学省)

#### ・第7回例会

期日 平成26年12月23日(火, 祝) 東洋大学白山キャンパス

内容 ①研究実践発表

大木匡尚氏(東京都立農業高等学校) 「地理歴史統合授業の現代的意義とその可能性」

②情報交換

加藤 将氏(神奈川県立神奈川工業高等学校) 「公立高校中堅社会科教員の日常」

当部会の開催告知については、主に、学会HP上で行います。会員の皆様には、当部会の趣旨を御理解いただき、当会企画の会合等に、積極的に御参加下さい。

### 4. 学会費納入のお願い

遅くなりましたが、2014年度の学会費振込用紙を同封いたしましたので会員の皆様の納入をお願いいたします。学会費は当学会の唯一の財源です。どうぞよろしくお願いいたします。会費未納の場合には、学会誌の送付を一時停止しますことを予めご了承ください。

振込番号や名義、会費は以下のとおりです。

振替番号: 00350-4-7442 名義: 中等社会科教育学会 会費 3,000円

### 5. 住所変更のお願い

毎年、事務局からお送りした案内や連絡等が戻ってきます。住所変更などがありましたら、お早目に事務局宛にメールでお知らせください。

### 6. 新入会員の募集

中等社会科教育学会では、研究活動の推進と発展を図るために、新入会員を募集しております。次頁の入会申込用紙を複写して必要事項をご記入の上、事務局宛てにご送付ください。受領後、こちらからご連絡します。

【中等社会科教育学会事務局】

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学人間系社会科教育学研究室  
中等社会科教育学会事務局 宛  
Mail: chuushagaku@yahoo.co.jp

年 月 日申込

年 月 日受付

中等社会科教育学会入会申込書

フリガナ	
氏名	
生年月日	
勤務先住所 勤務先  (職名)	〒  ( ) Tel ( ) E-mail
現住所 連絡先	〒  Tel ( ) E-mail
学会誌などの送付先	〒  Tel ( ) E-mail
最終学歴	
研究または関心を持っている課題	
*承認	年 月 日承認
【 備考 】	

\*印の欄は記入しないで下さい。

## 2014—2015 年度 中等社会科教育学会役員

任期：2014年（平成26）年4月1日～2016年（平成28）年3月31日

会 長 江口 勇治

副会長 井田 仁康

事務局 唐木 清志 國分 麻里

学会誌編集委員（◎は委員長，○は事務局長）

◎井田 仁康	大野 新	鎌田 和宏	川崎 誠司	栗原 久
○須賀 忠芳(2014)	寺本 誠	丹治 達義	○中村 光貴(2015)	野口 剛
藤本 和哉	谷田部玲生	山口 泰宏		

評議員

渥美 利文	飯島 睦子	石本由布子	磯山 恭子	井門 正美
茨木 智志	大野 新	小野 智一	加藤 公明	熊田 禎介
栗原 久	今野日出晴	佐藤 秀樹	須賀 忠芳	杉浦 正和
田尻 信壹	高橋 健司	外池 智	中切 正人	松岡 尚敏
松崎 康弘	草間真智子	宮蘭 衛	森岡 孝文	山根 栄次
李 明熙	若生 剛			

理 事

井田 仁康	伊藤 純郎	江口 勇治	鎌田 和宏	唐木 清志
川崎 誠司	木村 勝彦	桐谷 正信	齋藤 慶子	佐藤 公
杉田 孝之	多田 知子	丹治 達義	寺本 誠	年友 彩
野口 剛	華井 裕隆	藤本 和哉	真柴 晶彦	三橋 浩志
谷田部玲生	山口 泰宏	山田 美保	山本 栄一	

学生幹事

石塚 諭	小泉 育	齋藤 琴音	和田 麦彦	大澤 明梨
小林 悟	鈴木 崇宏	田中 明子	晝間千尋（大学院教育研究科院生）	

顧 問

横山十四男	篠原 昭雄	谷川 彰英		
-------	-------	-------	--	--

### 【編集規定】

- (1) 本誌は中等社会科教育学会の機関誌である。
- (2) 本誌は年1回発行するものとする。
- (3) 本誌は本学会の会員の研究およびそれに資する情報の発表の場である。
- (4) 本誌の編集は本学会の編集委員会が担当する。
- (5) 本誌に掲載する原稿は、すべて編集委員会を経由しなければならない。
- (6) 本誌に掲載する原稿の採否は、レフリーの審査を経た後に委員会が決定する。
- (7) 本誌に掲載する原稿について、編集委員会は執筆者に内容の変更を要求できる。
- (8) 本誌に掲載することが編集委員会において決定した原稿・電子媒体（CD等）は返却しない。
- (9) 本誌に掲載する原稿の執筆者による校正は第1校までとする。その後の校正は編集委員会が行う。
- (10) 本誌に掲載された論文・記事等の抜刷は執筆者の希望によって作製するが、その作製費・輸送費はすべて執筆者が負担するものとする。
- (11) 本誌に掲載する原稿の図版等で、特別の経費を必要とするものについては、執筆者が負担するものとする。

### 【執筆要領】

- (1) この機関誌への投稿は、本学会の会員に限られる。非会員と連名での投稿の際は、非会員の場合は入会手続きを取らなければならない。ただし、編集委員会からの依頼原稿の場合は、この限りではない。
- (2) この機関誌への投稿原稿は、未発表のものに限られる。ただし、口頭で発表したものや私的に配布した印刷物の場合は、この限りではない。
- (3) 投稿は以下のものである。

研究論文	社会科教育の歴史・理論および海外の事例などについての研究 1,200字×17枚程度
実践論文	学校教育・社会教育などでの自らの社会科教育の実践をふまえた授業研究 1,200字×14枚程度
研究ノート	社会科教育の歴史・理論・事例研究や提言 1,200字×10枚程度
授業レポート	社会科の授業や展示の実践紹介 1,200字×3枚程度
社会科教育情報	社会科教育に関連した有益な情報の提供 1,200字×2枚程度
書評	社会科教育に関連した書籍の批評 1,200字×2枚程度
図書紹介	社会科教育に関連した書籍の紹介 400字程度

- (4) 投稿原稿の本文は必ず一太郎か Word を使って作成する。その際に A4 判で横書き、40 字×30 行でページ設定する。手書き原稿は受理しない。
- (5) 投稿原稿は完全成稿とし、打ち出し原稿には図表も貼付する。また、必ず英文タイトルも付ける。
- (6) 投稿の際は、打ち出し原稿3部を編集委員会宛に送付する。掲載が決定した場合は、電子媒体（CD等）でデータを提出する。
- (7) 投稿の際には、必ず執筆者の名前・よみがな・所属（職名その他をふくむ）・連絡先（郵便番号・住所・電話番号・電子アドレス）を明記する。
- (8) 投稿のあて先は以下の通りである。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1 筑波大学附属高等学校

中村 光貴 メールアドレス：mnakamur@high-s.tsukuba.ac.jp

- (9) 投稿を希望する者は、8月末日までに上記あて先まで事前に連絡をする。
- (10) 投稿の提出締め切りは、10月15日とする。

## 編集後記

『中等社会科教育研究』第33号をお届けします。会員の皆様には、多くの論稿を投稿していただきありがとうございました。ご意向にそわず、残念ながら掲載にいたらなかったものもごさいます。これにこりず今後とも投稿のほどよろしくお願ひします。また、査読していただき、貴重なコメントをいただいた先生方にも深くお礼申し上げます。

本号はおかげさまで、第32回研究大会でのシンポに関する特集の論稿が5本、研究論文1本、特に実践に基づいた論稿である実践論文6本、研究ノート2本、そして書評が1本と充実した内容となっており、中等社会科教育学会の性格が強く反映した構成となりました。これも会員の皆様の研究に対する熱い情熱の賜物と思っております。今後とも、多くの投稿をよろしくお願ひします。研究論文、実践論文、研究ノートも厳格な査読をした「論文」であり、会員皆様の重要な業績、研究の証となっておりますが、一方で、どのように書けば「論文」となるのか、困惑されている会員もおられるように推測します。学会でいうところの「研究」と教育現場で使われる「研究」という用語に齟齬があるようにも感じられ、それが「論文」の概念にも関連し、「論文」についての捉え方の違いになってきているのではないかと思っています。機会があれば、学会の研修として、学会が考える「論文」について、説明することも必要かと感じています。

本号の編集事務は、東洋大学の須賀忠芳先生にお願いしましたが、須賀先生はすでに4号連続で編集事務を担当していただきました。その間、先生のご尽力により投稿数も飛躍的に多くなり、掲載する論文も多くなりました。次号からは、編集事務を筑波大学附属高等学校の中村光貴先生に担当していただきます。須賀先生には、中村先生のサポートをお願いしていますが、長い間、大変な仕事をしていただき感謝しております。また、中村先生にはお手をかけますがよろしくお願ひします。編集事務は大変な仕事です。会員の皆様にも、そのことを是非ご理解していただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

『中等社会科教育研究』は、今後とも皆様の研究成果を迅速に発表できる場にしたいと考えております。会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(井田仁康)

## 編集委員会

委員長	井田 仁康 (筑波大学)
委員	大野 新 (筑波大学附属駒場中・高等学校)
	鎌田 和宏 (帝京大学)
	川崎 誠司 (東京学芸大学)
	栗原 久 (東洋大学)
	須賀 忠芳 (東洋大学) ※事務局
	寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)
	丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校)
	野口 剛 (帝京大学)
	藤本 和哉 (筑波大学附属高等学校)
	谷田部玲生 (桐蔭横浜大学)
	山口 泰宏 (筑波大学附属中学校)